

【資料1】

令和6年2月21日

対馬海洋保護区しまうみ管理計画

第20回対馬市海洋保護区設定推進協議会



対馬市水産資源管理計画【磯資源】

令和4年度 対馬管内漁協の水揚量モニタリング結果

令和6年2月

対馬市

(様式6)

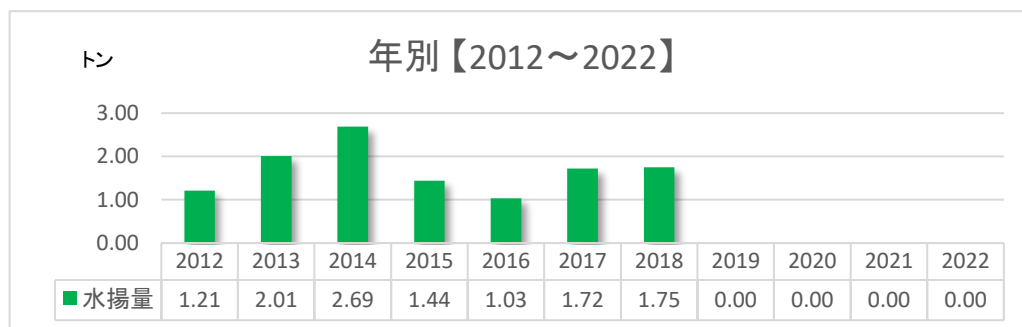
■磯資源モニタリング結果（個別）

【2022年版】

対馬市

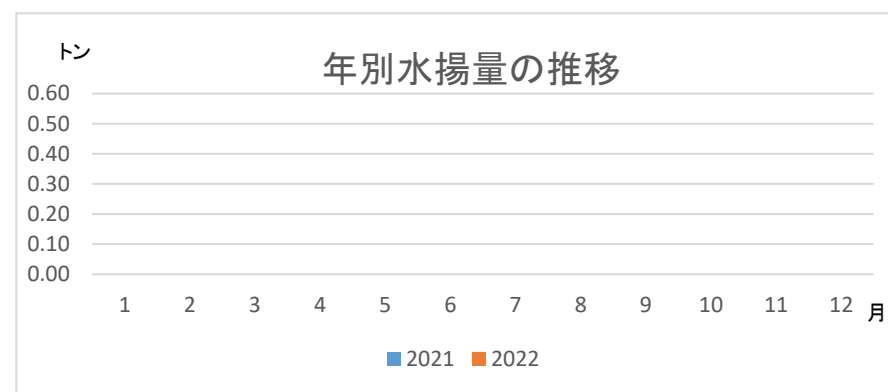
1 アオノリ

モニタリング期間:2022年1月 ~ 2022年12月



コメント

水揚げをするまでの資源量はなく、主に自家消費されている。

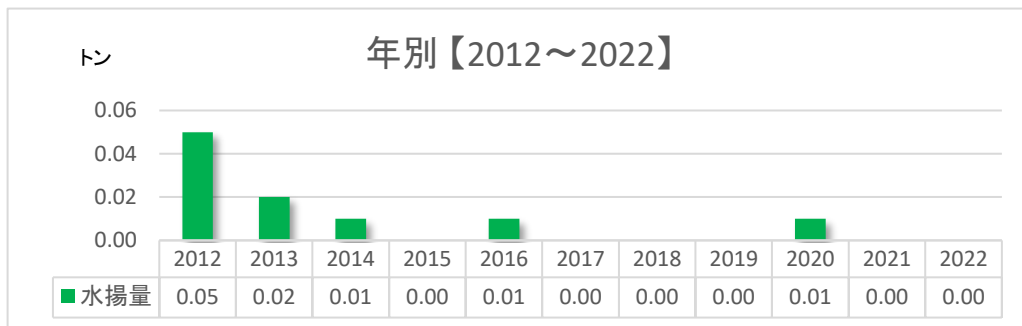


※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

2

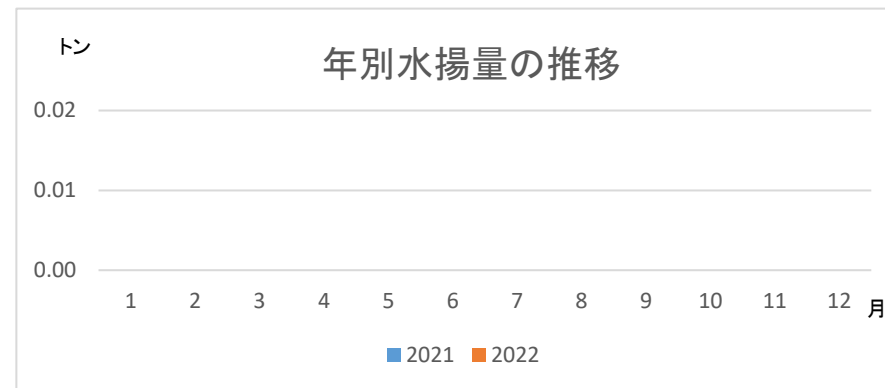
アマノリ

2023年12月26日現在



コメント

水揚げをするまでの資源量はなく、主に自家消費されている。



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

3

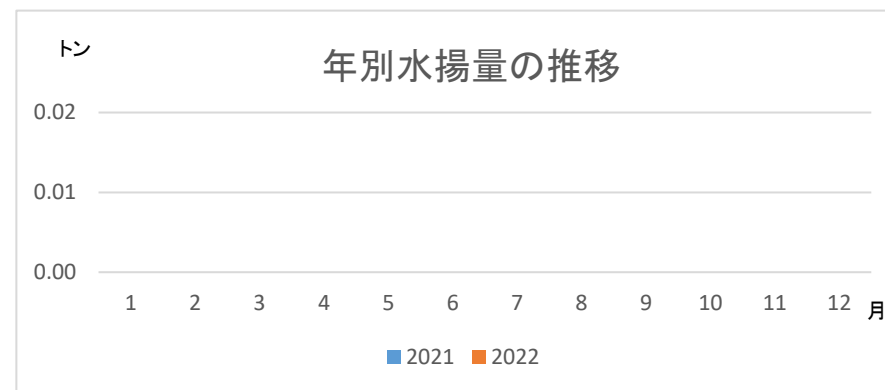
オゴノリ

2023年12月26日現在



コメント

特になし。

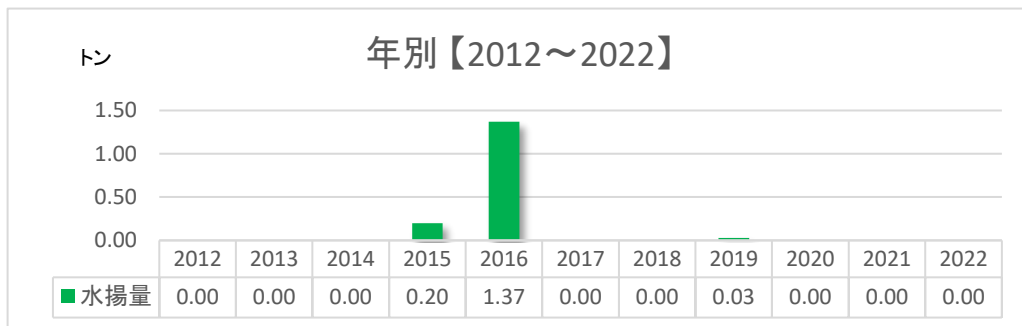


※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

4

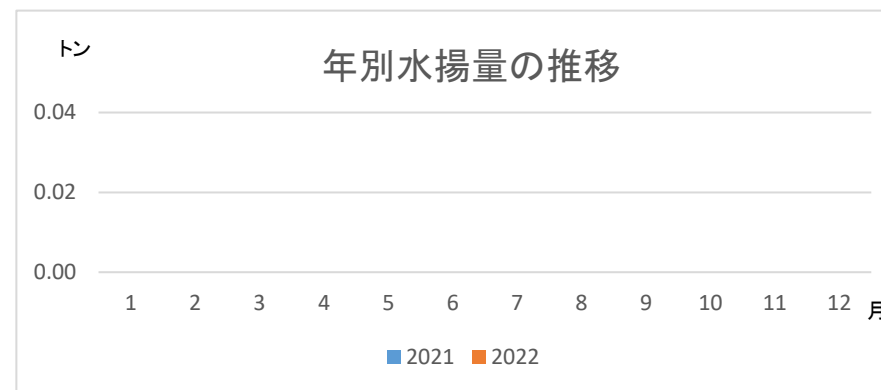
カジメ

2023年12月26日現在



コメント

対馬全域で見られなくなっており、残存していても自家消費や小売りが多く、漁協をととしての水揚げはない。



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



5

テングサ

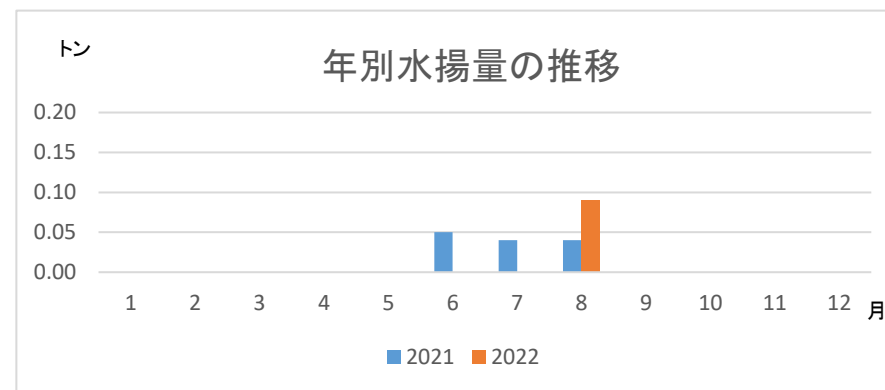
2023年12月26日現在



コメント

主に自家消費されている。

主な水揚げ先：高浜



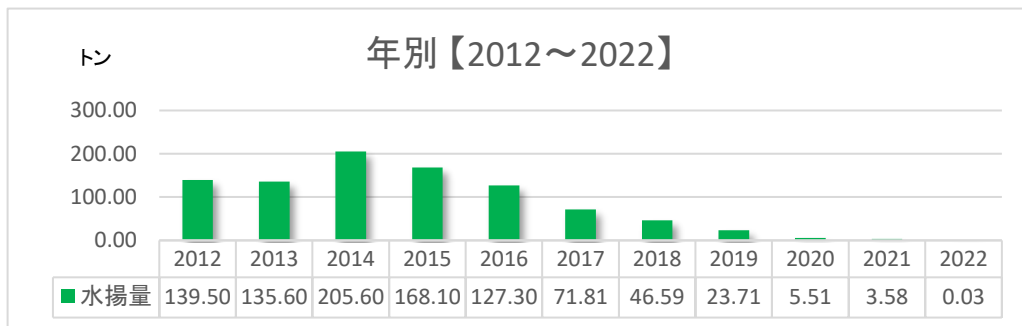
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



6

ヒジキ

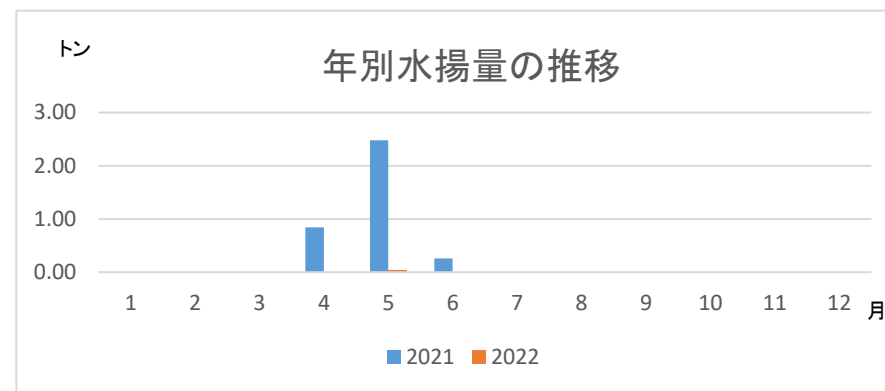
2023年12月26日現在



コメント

局地的に残存しているが、着底する場所が年々減っており主に自家消費されている。
仕切り網の中では生育するため、水温よりも食害の影響が大きいと思われる。

主な水揚げ先：美津島

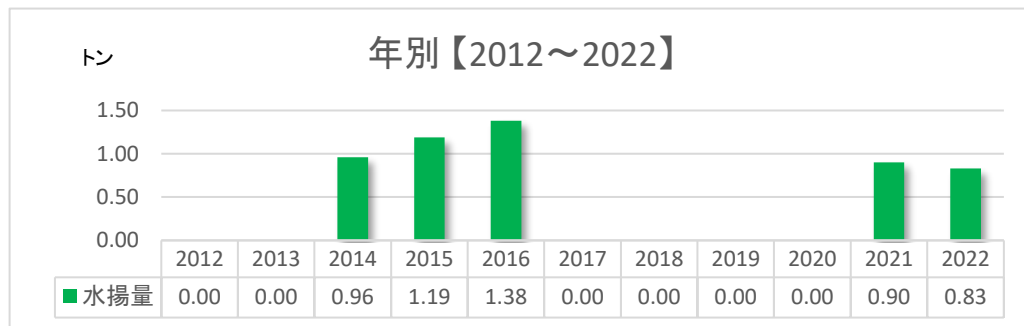


※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



7 ヒトエグサ

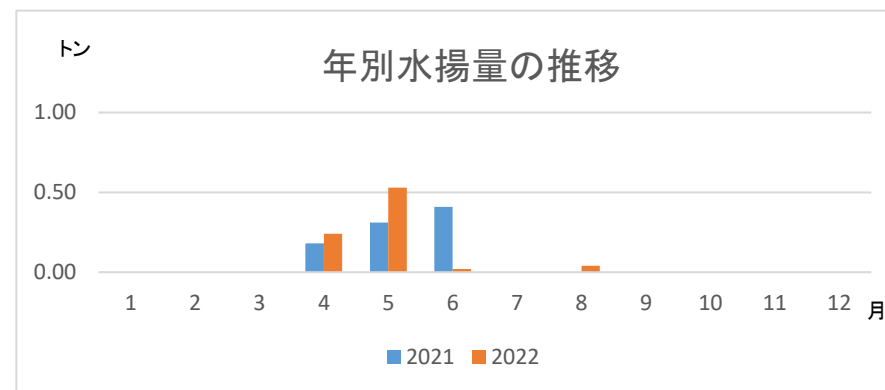
2023年12月26日現在



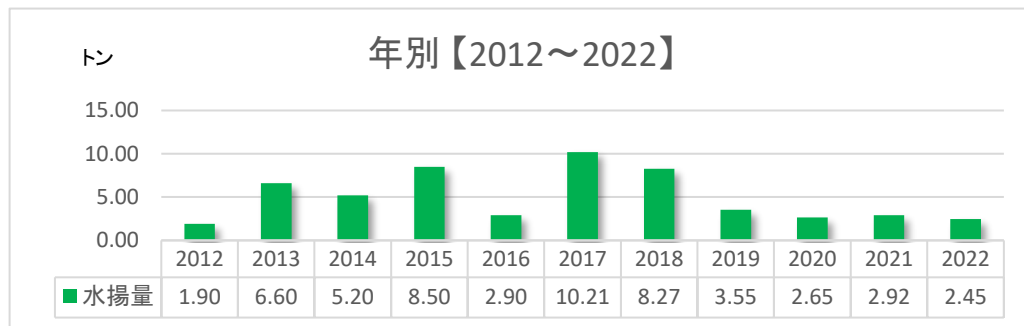
コメント

養殖が主であり、島内で10軒近く養殖をしている。

主な水揚げ先：厳原



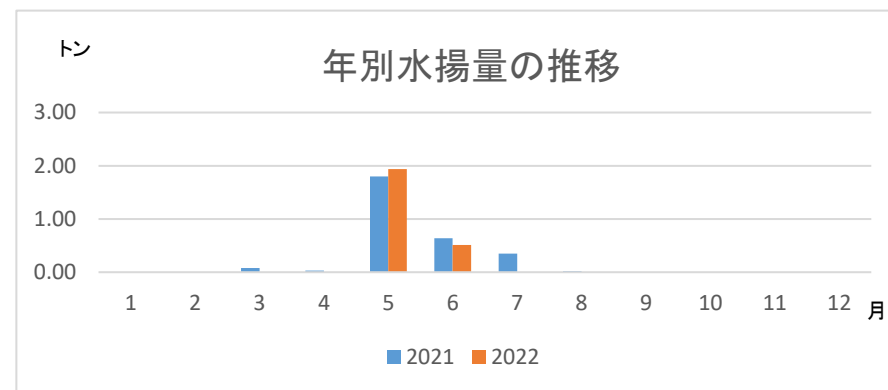
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



コメント

資源量はあると思われるが、とにかく手間がかかるため採捕者がいない。高水温の影響なのか、口開けの時期と収穫適期がずれてきている。

主な水揚げ先：豊玉、佐須奈、上県



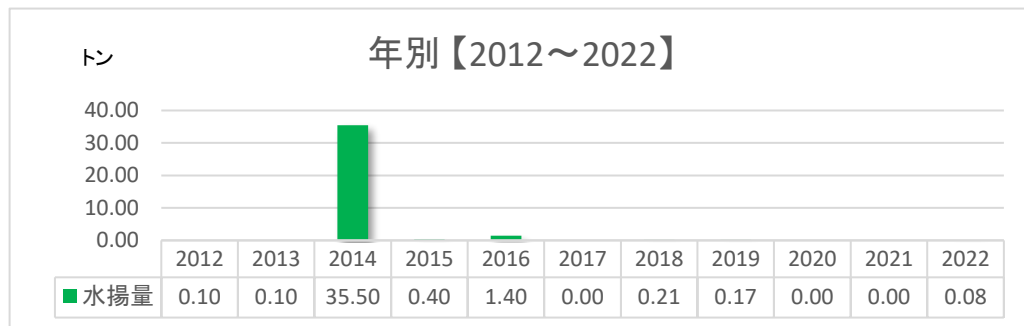
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



9

ワカメ

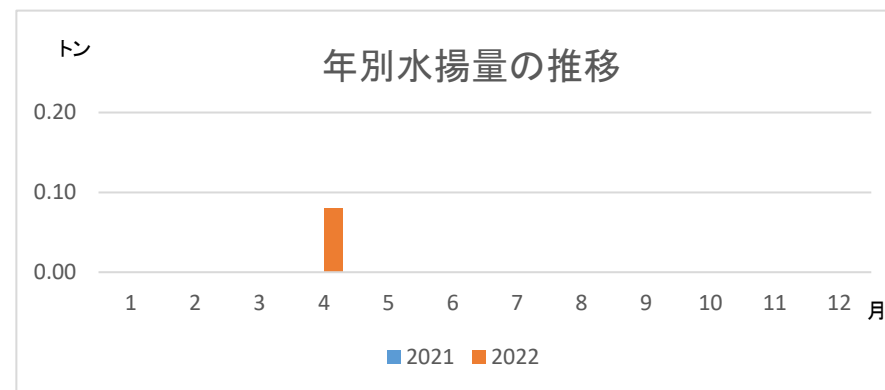
2023年12月26日現在



コメント

浮棧橋の岸壁で見られることは多いが、主に自家消費されている。

主な水揚げ先：美津島



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



10

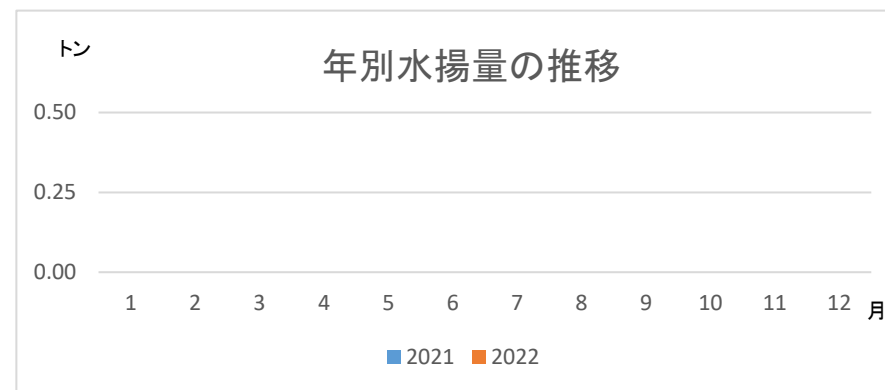
アサリ

2023年12月26日現在



コメント

少量の資源量はあるが、イノシシに食べられてしまう。



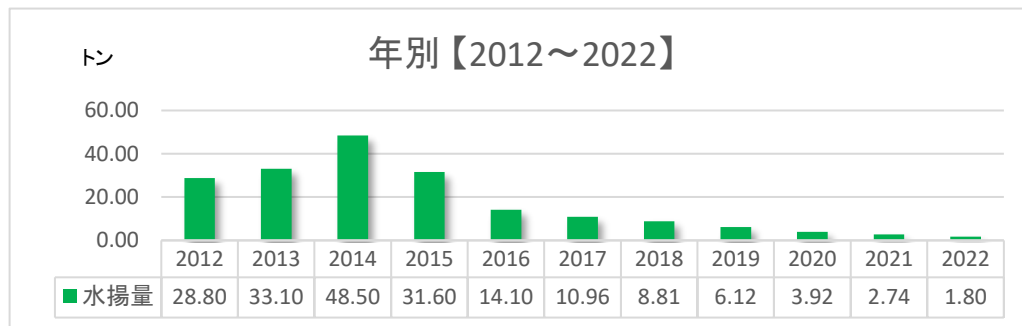
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



11

アワビ

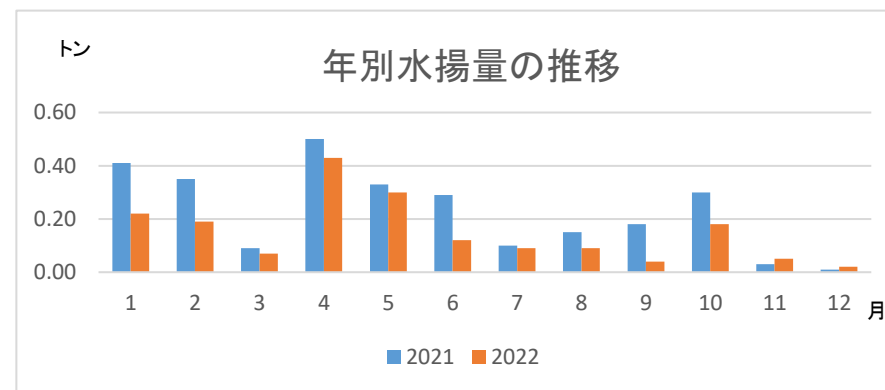
2023年12月26日現在



コメント

潜水器でも獲れないほど、資源量は激減している。
クロアワビは移動するため少しは資源量はあるが、アカアワビは移動しないため餌もなく体が痩せている。

主な水揚げ先：峰町東部、豊玉、美津島



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



12

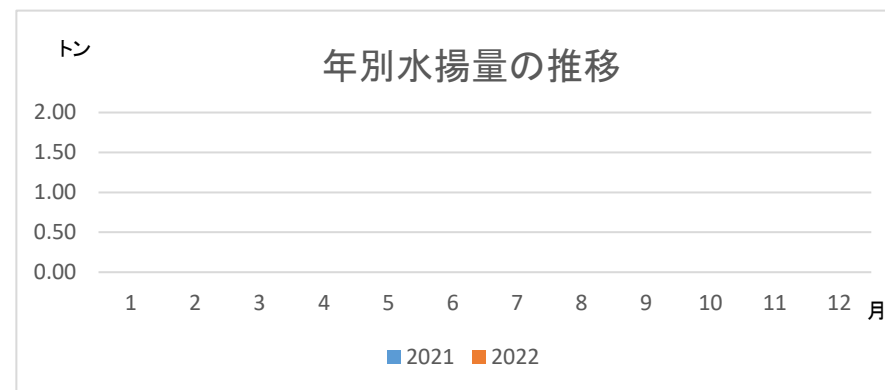
イシマテ

2023年12月26日現在



コメント

浅茅湾には生息しているが、主に自家消費されている。



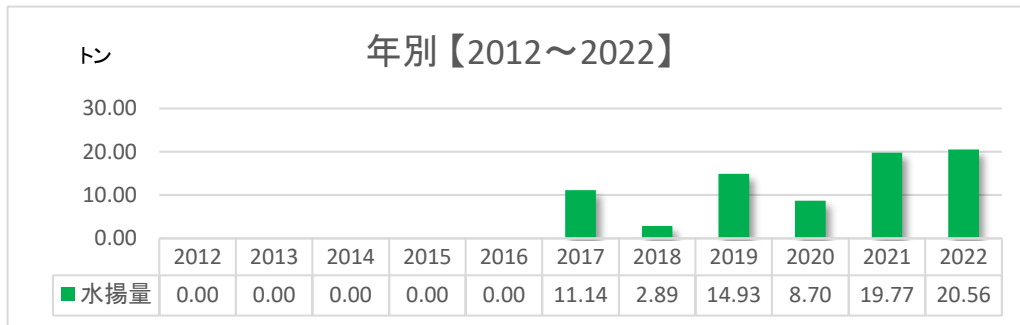
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



13

カキ

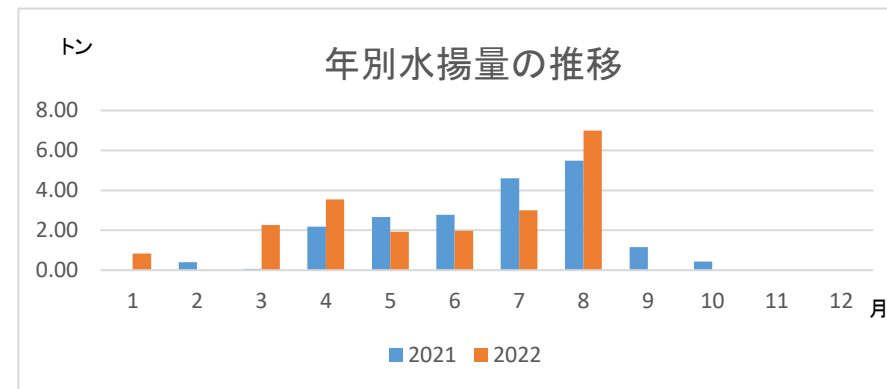
2023年12月26日現在



コメント

水揚げは主に養殖物であるが、浅茅湾に小さいが天然物が見られる。資源量は安定していると思われる。

主な水揚げ先：美津島、豊玉



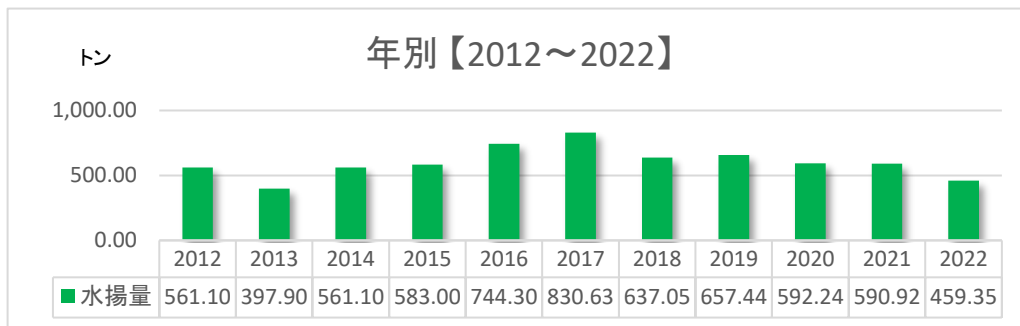
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



14

サザエ

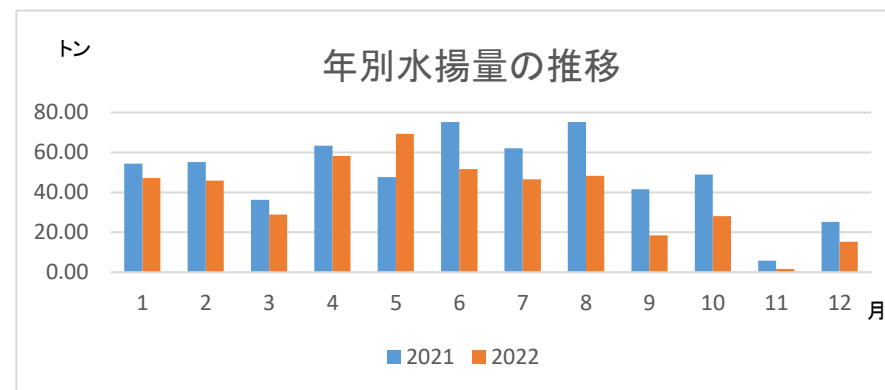
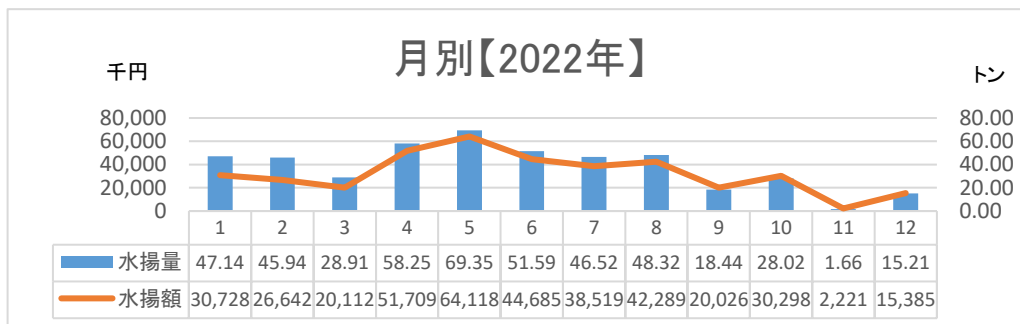
2023年12月26日現在



コメント

以前は安定した収穫があったものの、近年は激減している。
身が痩せている個体が多い。

主な水揚げ先：上対馬、豊玉、峰町東部



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



15

トコブシ

2023年12月26日現在



コメント

特になし。

主な水揚げ先: 美津島



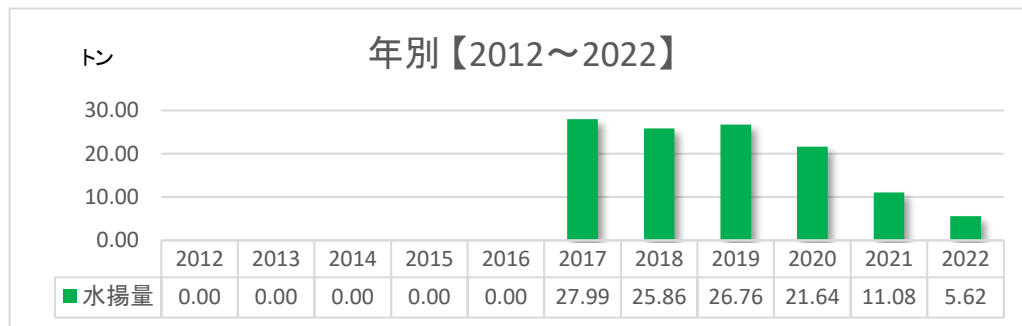
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



16

ニナ

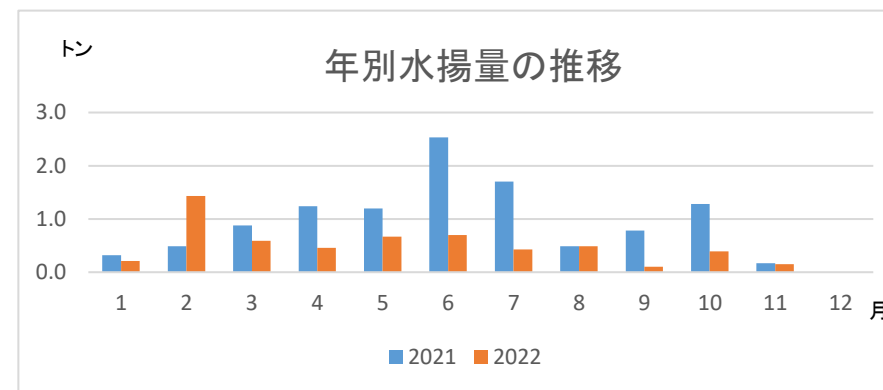
2023年12月26日現在



コメント

全島的に生息しており資源量はある程度、安定していると思われるが、採捕者が減少していることもあり、水揚げする漁協は少ない。

主な水揚げ先：豊玉、上県、高浜



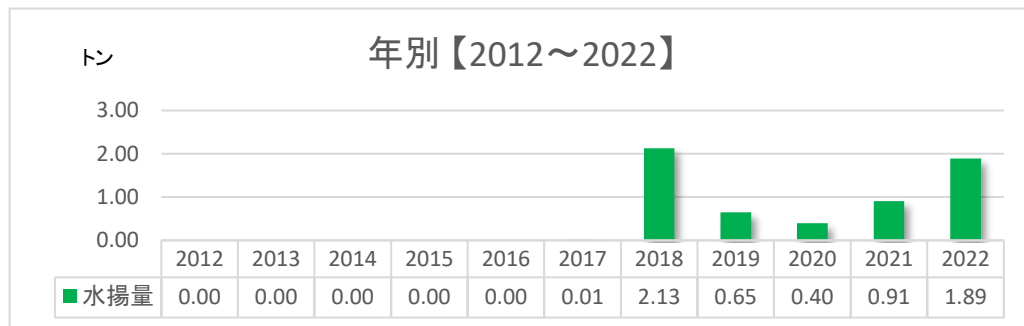
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



17

バイ

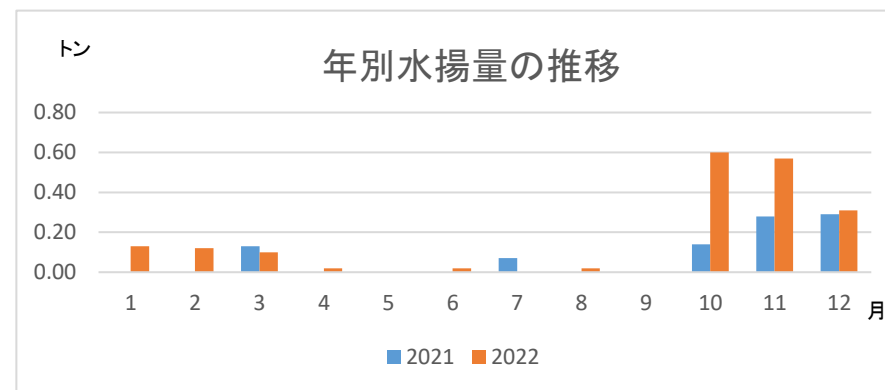
2023年12月26日現在



コメント

砂底に生息するが、資源量、採捕者ともに少ない。
獲れる時に一気に獲るので、水揚げが多かった年から2、3年は資源量が減少する。

主な水揚げ先：佐須奈、伊奈



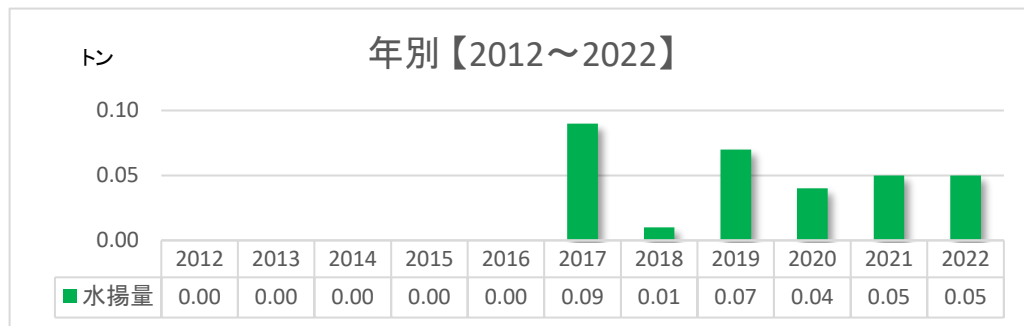
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



18

イセエビ

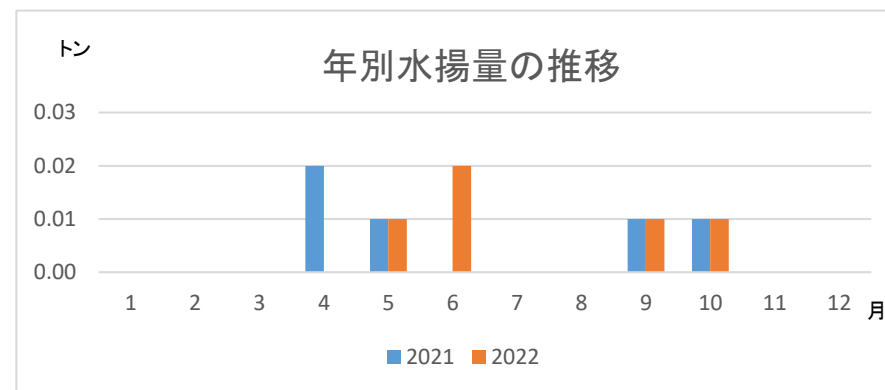
2023年12月26日現在



コメント

建網、潜りで採捕しているが、減少傾向にある。
沖防波堤に見られる。

主な水揚げ先：伊奈、豊玉、佐須奈

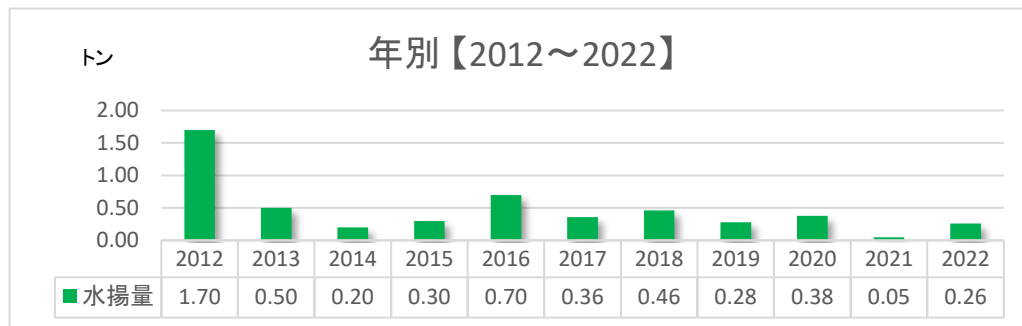


※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

19

ウニ

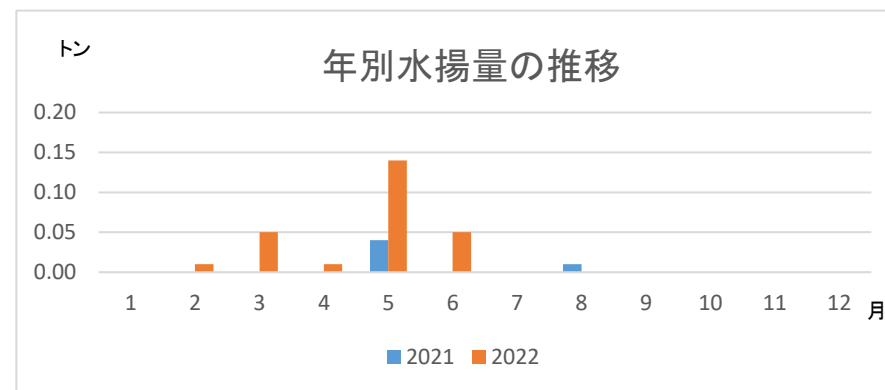
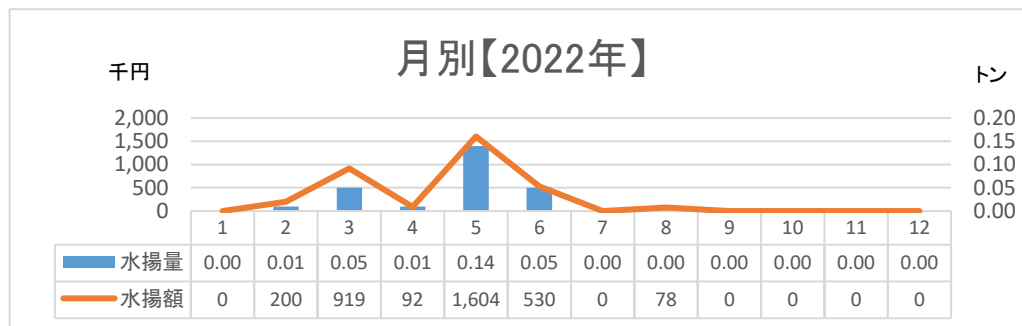
2023年12月26日現在



コメント

主に小売りや自家消費されており、漁協の水揚げは少ない。
身入りの良し悪しを度外視すれば資源量が多い。

主な水揚げ先：上対馬、美津島、豊玉



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



20

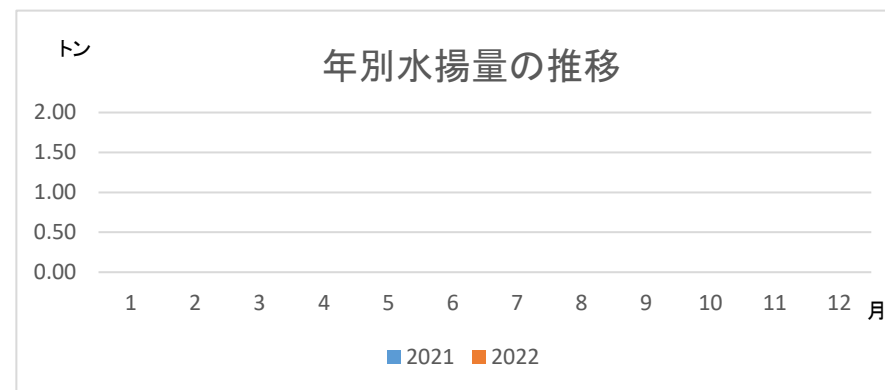
エムシ

2023年12月26日現在



コメント

特になし。

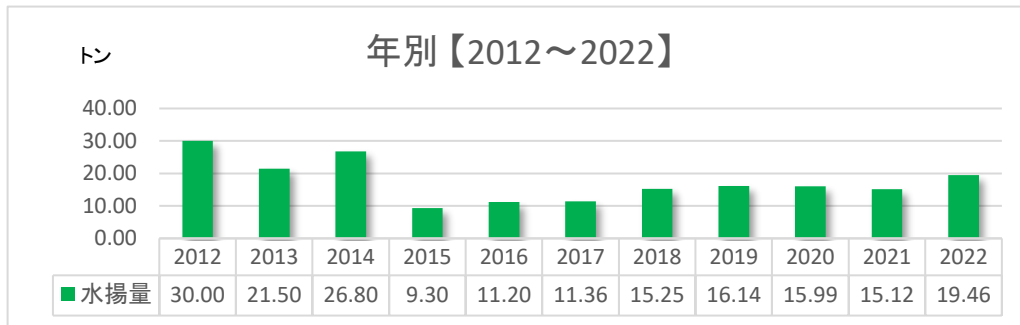


※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

21

タコ

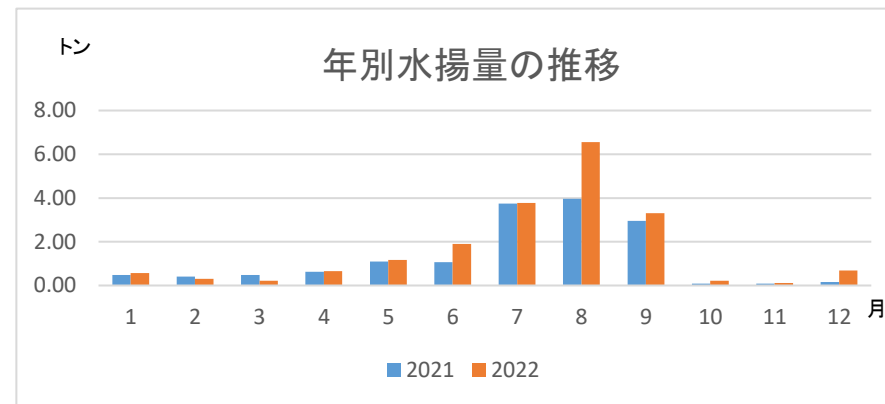
2023年12月26日現在



コメント

資源量、値段ともに安定している。
箱のキロ数と型を揃えないと値段が付かないため手間はかかる。

主な水揚げ先：上県、西海、上対馬南



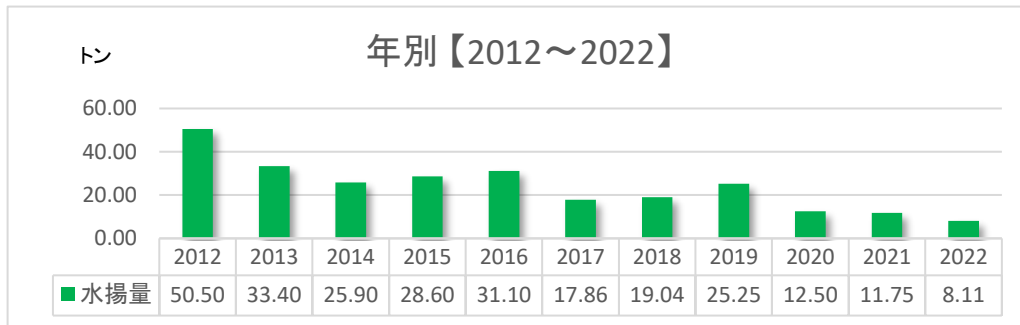
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



22

ナマコ

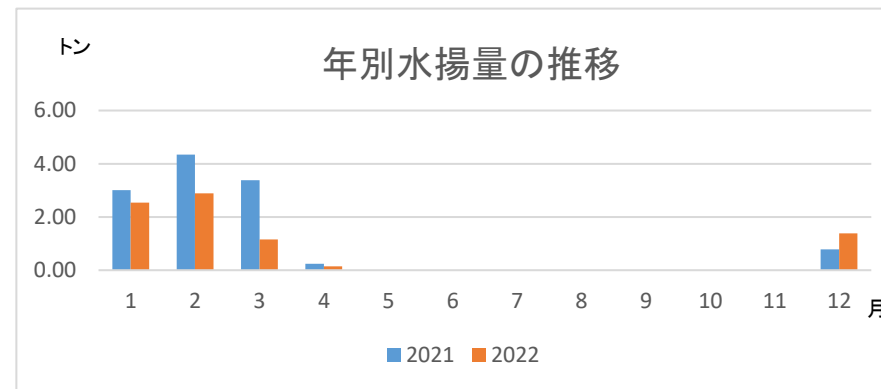
2023年12月26日現在



コメント

資源量は減少傾向にある。
 ケタ曳き、素潜りにて採捕するがケタ曳きは根こそぎ獲るため、資源に大きなダメージが生じることがある。

主な水揚げ先：美津島、豊玉、上対馬



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

